



MK STYLE

栗原医療器械店 人材像コミュニケーションマガジン

vol. 1

2022/01

2 GO! MK STYLE

3 KURIBARA's CARTE

5 一問一答 “自立／自律” な人の本音

6 栗原の週末。

 選ばれ続けるパートナーへ
株式会社 栗原医療器械店
KURIBARA MEDICAL INSTRUMENTS



新社内報創刊

GO! MK STYLE

患者様を家族のように思い、地域の医療に貢献する
栗原医療器械店の揺るぎない使命だ

しかし、時代は大きな転換点を迎えている
あらゆるものが変化し、適応できなければ淘汰される

そんな時代において、
私たちの強みとはなんだろう

それは誰よりも患者を思い、
地域医療に貢献する
MKの「人」だ

その想いを共有し、つなげていくために
この社内報は生まれた

どんな時代でも
「人」にしかできないことがある

これからも、MKの強みは「人」にある

————— 人材像・行動指針 —————



MK STYLE



オーソペディックサージェリー営業本部
OS北関東営業部 太田支店
二渡 菜央さん

誰もが充実したキャリアを 歩み続けられる、 そんな栗原を実現するために

——先輩が私にしてくれたことを、
どれだけ後輩にしてあげられるか

入社5年目にして新人育成を任されるようになり、今は後輩の成長が何よりのやりがいです。これまで自分の成長のため、がむしゃらになって仕事に取り組んできましたが、後輩の指導を通じて、仕事への姿勢や考え方を見つめ直すことができました。今後は厳しくも愛情を持って私を育ててくださった先輩のように、自分の仕事で成果を出しながら立派な後輩を育てることで、尊敬する先輩に恩返しできればと考えています。

——企業に完成形はない。

自分のために、栗原のためにできることから

OS初の女性営業として仕事をする中で、女性が活躍できる職場づくりに強い関心があります。そうした職場環境や充実したキャリアの実現には、一人ひとりが自分の思いや意見を周囲に発信することが大切です。企業に完成形がない以上、みんなで声を上げて、栗原医療をより良い会社へとブラッシュアップしていかなければなりません。こうした動きを加速させることで、全ての人がイキイキと仕事を楽しみながら、望むキャリアを長く歩み続けられる会社を目指していきたいと思います。

Profile

2017年、新卒入社。祖母の在宅介護をきっかけに福祉分野に関心を持ち、学生時代は社会福祉を専攻。入社後はエリアセールスに配属され、2021年7月にOSへ異動。現在は整形・口腔外科の症例対応や新人育成ほか、女性活躍に関する「なでしこエイジネットワーク」にも参加。

誰にも負けない。 そう信じられるだけの努力が、 負けない自分をつくる

—— 誰よりも真剣に、病院の「思い」に耳を傾ける。
だから、負けない

入社以来、一貫して営業職を続けてきました。社内外を問わず「誰にも負けたくない」という思いが自分を突き動かしています。仕事をする上で大切にしているのは、ANAさんが掲げている「小さいことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に」という言葉。一つひとつ丁寧に、誠意ある対応をモットーに、病院の純粋な思いを形にしてきました。こうした仕事を続けてこられたのは、一重に私という人間に価値を見出し、採用してくれた栗原医療をがっかりさせたくないという思いが大きかったと思います。

—— より良い栗原のため、一人でも多く、
MK STYLEの体現者を

今回のMK STYLEしかり、会社をより良くしていこうとする取り組みは、大きなエネルギーが必要です。そして、大抵の場合は通常業務と並行して行わねばならず、時間の捻出に苦勞することでしょう。しかし、そうした負荷を乗り越えることができれば、個がさらに強くなり、MK STYLEが目指す「自律／自立」した人材の量産につながると思います。今回の社内報が、そうした人材を増やすきっかけになることを楽しみにしています。

Profile

2011年、新卒入社。学生時代から営業職を志望。なかでも付加価値の高い医療機材を扱いたいとの思いから栗原医療器械店へ。入社から一貫してエリアセールスに従事。現在は600床以上の大学病院や公立病院の担当と並行して、5人の部下をまとめる。



埼玉営業本部
さいたま支店

板垣 辰也さん

KURIBARA'S CARTE

Q1
業務を通じて、
自分自身の中で変わったことは？

自分の成長+αで、
居心地の良い
会社づくり

ここ数年で、キャリアに対する視野が大きく広がりました。以前は自分の成長が第一でしたが、最近では栗原で1日でも長く、楽しく働き続けるための環境づくりに大きなやりがいを感じるようになりました。

Q2
オンオフ問わず、
目標とする人物は？

働く女性として、
母は永遠の
目標です

30年以上同じ会社で働き続けている母です。今よりも制度が整っていない時代に、結婚や出産、子育てをしながら、今なおフルタイムで働き続ける母を尊敬しています。

Q3
もし、栗原にいなかったら何をしていた？

障がい者の可能性を見出し、
企業のチカラに！

学生時代にボランティアで参加した、知的障がい者の就労支援施設で働いていたと思います。彼らの秀でた部分を探し当て、そうした能力を必要とする企業に結びつけることがすごく楽しかったです。

二渡さん

の
本音

Q4
あなたが目指す
5年後の姿は？

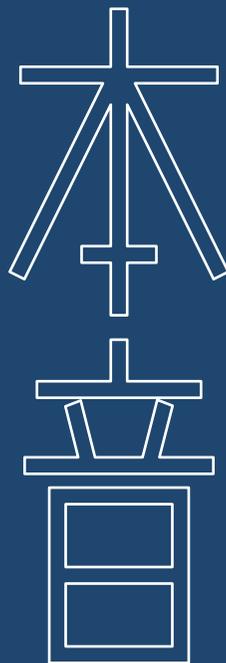
次代を任せてもらえる、
そんな存在に

女性の役職者は数えるほどしかいません。まずは自分をしっかり高めて、そうした方たちから「次はあなたね!」と言っていたりするような存在になりたいですね。

一問一答

自立／自律

な人の



一問一答形式で、
仕事やプライベートにまつわる
本音を伺いました。

< 5 >

Q1
業務を通じて、
自分自身の中で変わったことは？

「個人」から「全体」へ、
結果を出す意識を変える

以前は「個」で結果を出すことに躍起になっていました。しかし、最近になって支店や本部といった大きな単位で、会社全体として利益を生み出すということを意識できるようになりました。

Q3
MK STYLEに新たに言葉を足すとしたら？

「成長」を超えた「飛躍」を！

「飛躍」の一言に尽きると思います。VISION2030しかり、栗原の掲げる目標はただの「成長」では達成できないものばかりです。成長よりも力強い「飛躍」こそ今の栗原に必要な意識だと思います。

Q4
あなたが目指す5年後の姿は？

本部長の夢を、
必ずや現実のものに

それはもちろん、本部長です！今はまだ目標でしかありませんが、そうした役職に見合うだけの仕事をして、5年後には必ず達成したいです。

Q2
オンオフ問わず、
目標とする人物は？

ひたむきな
努力が、
偉業につながる

松山英樹さんです。日本人初のマスターズ優勝はもちろん、スイングの再現性や基礎練習を怠らず、本番でしっかり結果を残す姿に憧れます。

板垣さん

の
本音



栗原の週末。

「MK STYLE」を実践する皆さんに、
週末の過ごし方を伺いました！



休日は、キャンプにフットサルとアクティブに楽しんでいます。山奥でのキャンプはスマホの電波も届かないので、自然を楽しみながら、友人たちと深い話もできるのでオススメです！一方、フットサルは学生時代から続けていて、社内にはこの趣味を通じて話すようになった方も。コミュニケーションの輪が広がり、業務にも良い影響を及ぼしています。どちらも心も体も充実できる趣味なので、怪我にだけは気を付けながら、長く楽しんでいきたいと思います。



コミュニケーションの 輪を広げる！

オーソペディックサージェリー営業本部
OS北関東営業部 太田支店
二渡 菜央さん



ゴルフだって、 負けません！

埼玉営業本部
さいたま支店
板垣 辰也さん

コロナ禍をきっかけに「一人でも楽しめる趣味を」と、ゴルフを始めました！最近では、週1回は練習に、月1回はラウンドを周れるよう日々家族サービスに精を出しています（笑）。練習会やスループレーでは初対面の方との会話から良い刺激を受けますし、なによりゴルフを通じて父と会話が弾むようになったのは嬉しい誤算でした。今後は怪我に注意しながら、社内コンペで活躍できるようスコアアップを目指して、より一層練習に励みます！